

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(石油:<http://mylibrary.maeda1.jp/oil.html>)

マイライブラリー:0435

(注)本稿は2018年2月22日から3月20日まで14回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2018.3.22
前田 高行

五大国際石油企業2017年度業績速報シリーズ

目次	頁
I. 各社の業績概要	
1. ExxonMobil の2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	3
2. Shell の2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
3. BP の2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
4. Total の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	5
5. Chevron の2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	6
II. 2017年の業績比較	
1. 売上高	6
2. 利益	7
3. 上流部門/下流部門利益	7
4. 売上高利益率	8
5. 設備投資額	8
6. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	8
(2)天然ガス生産量	9
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	9
III. 2016年と2017年の5社業績比較	
1. 売上高	9
2. 損益	
(1)総合損益	10
(2)上流部門と下流部門の損益比較	10
3. 設備投資	11

III. 8カ年(2010-2017年)業績推移の比較	
1. 売上高	11
2. 利益	12
3. 売上高利益率	13
4. 設備投資	13
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	14
(2)天然ガス生産量	15
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	15

国際石油企業(International Oil Companies, IOCs)の2017年第4四半期(10-12月)及び年間(1-12月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil(米)、Shell(英蘭)、BP(英)、Total(仏)及び Chevron(米)の主要5社を取り上げ、各社の売上高、利益、投資額、石油・ガス生産量等を概観し、さらに5社の業績比較を行う。

I. 各社の業績概要(末尾表 1-D-4-20 参照)

1. ExxonMobil の 2017 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-197-billion-2017-84-billion-fourth-quarter>

(1)売上高

ExxonMobil の 2017 年 10-12 月の売上高は 665 億ドルであり、また通年売上高は 2,444 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ+17.9%の及び+17.4%の増収である。増収の要因は対応する期間の原油価格がアップしたためであり、例えば代表的な指標油種である北海 Brent 原油の 2016 年の平均価格は 43.73 ドル/バレルであり、これに対して 2017 年のそれは 54.19 ドルドルであり、また第 4 四半期の平均価格も 2016 年の 49.33 ドルに対して 2017 年は 61.26 ドルに上昇している¹。後述する通り 2017 年の生産量は 2016 年を下回っていることから増収要因が原油価格の上昇であったことが解る。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 84 億ドル及び 197 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は約 5 倍、通年では 2.5 倍といずれも前年比大幅な増益であった。通年利益のうち上流部門の利益は 2016 年の 2 億ドルに対して 2017 年は 134 億ドルの大幅増であった。また下流部門も 2016 年の 42 億ドルに対して 2017 年は 56 億ドルで 33%増であった。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

上流部門の利益と下流部門の利益を比較すると、2016 年は上流部門の利益が下流部門を大幅に下回り、2017 年は逆に上流部門が好調で下流部門の利益を上回っている。これは原油の市場価格が 2016 年は低迷し、2017 年は高めに推移したためである。即ち原油価格が低迷すると上流部門の利益が圧迫され、逆に安価な原油価格に支えられて下流部門で利益が発生したのが 2016 年であり、2017 年は原油価格が上昇したため上流部門で利益が出る一方、下流部門は利益が圧迫されたのである。この傾向は他の 4 社もほぼ同様傾向である。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 8.1%であり、前年の 3.8%に比べて大幅に改善されている。

(4)設備・探鉱投資

2017 年の年間の設備・探鉱投資額は 231 億ドルであり、これは 2016 年の 193 億ドルに比べ 20%

増である。

(5)石油・ガス生産量

昨年の ExxonMobil の石油生産量は日量平均 2,283 千バレル(以下 B/D)であり、前年(2016 年)の 2,365 千 B/D を 3.5%下回っている。天然ガスは日量平均 10,211 百万立法フィート(以下 mmcf)であり前年とほぼ同量である。石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,985 千 B/D となり、2016 年比 1.7%減となった。

2. Shell の 2017 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2018/fourth-quarter-2017-results-announcement.html>

(1)売上高

Shell の 2017 年 10-12 月の売上高は 854 億ドルであり、また通年売上高は 3,052 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ 32%及び 31%の増収であった。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 38 億ドル及び 130 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は 2.5 倍の増益であり、通年でも前年比 3 倍弱の大幅増益となっている。通年利益のうち上流部門は 16 億ドルの利益であり、また下流部門も 83 億ドルの利益であった。上流部門の前年度(2016 年)は 37 億ドルの赤字であったが、今期は利益を計上している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 4.3%であり前年の 2.0%から向上している。

(4)設備・探鉱投資

2017 年の年間の設備・探鉱投資額は 208 億ドルであり、2016 年に比べ 6%減少している。

(5)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は日量平均 1,825 千 B/D であり、前年(2016 年)よりやや減少している。天然ガスは日量平均 10,668mmcf であり前年比横ばいである。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,664 千 B/D となり、前年とほとんど変わらない。

3. BP の 2017 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/media/press-releases/fourth-quarter-2017-results.html>

!

(1)売上高

BP の 2017 年 10-12 月の売上高は 678 億ドルであり、また通年売上高は 2,402 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 33%、通年ベースでは 31%の増収である。

(2)利益

10-12 月期の利益は前年同期の 5 億ドルの黒字に対して黒字幅は 2,700 万ドルにとどまった。一方通年ベースでは前年度の 1 億ドルの黒字に対し今期は 34 億ドルの利益を計上した。部門別では上流部門は通年で 52 億ドルの利益を計上、下流部門の利益は上流部門を上回り 72 億ドルの黒字であった。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率はプラス 1.4%であり、前年の 0.1%から改善している。

(4)設備・探鉱投資

2017 年の年間の設備・探鉱投資額は 166 億ドルであり、2016 年とほぼ同額である。

(5)石油・ガス生産量

昨年の BP の石油生産量は日量平均 1,356 千 B/D であり、前年(2016 年)に比べ 12.3%増加している。天然ガスは日量平均 6,436mmcf/d であり前年より 11%増加した。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,466 千 B/D となり、2016 年比では 12%増である。

4. Total の 2017 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/2017-results-outlook>

(1)売上高

Total の 2017 年 10-12 月の売上高は 474 億ドルであり、また通年売上高は 1,715 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 12%、通年ベースでは 14.5%の増収である。

(2)利益

10-12 月期は 10 億ドル、通年では 86 億ドルの利益であり、2016 年に比べ四半期ベースでは 1.9 倍、通年では 1.4 倍の増益である。通年利益のうち上流部門の利益は 60 億ドルで前年に比し 65% 増加、下流部門は 38 億ドルの利益で前年を 10%下回った。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 5%であり、前年の 4.1%より改善されている。

(4)設備・探鉱投資

2017年の年間の設備・探鉱投資額は116億ドルであり、これは2016年の3分の2にとどまっている。

(5)石油・ガス生産量

昨年のTotalの石油生産量は日量平均1,346千B/Dであり、前年(2016年)比6%増であった。天然ガスは前年より3.3%多い日量平均6,662mmcf/dである。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で2,566千B/Dとなり、2016年比4.6%増である。

5. Chevronの2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績

* 同社ホームページ:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-fourth-quarter-earnings-of-3-1-billion>

(1)売上高

Chevronの2017年10-12月の売上高は376億ドルであり、また通年売上高は1,417億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ19%及び24%の増収である。

(2)利益

10-12月期の損益は31億ドルの利益、通年では92億ドルの利益である。前年同期と比較すると通年では前年の5億ドルの赤字から黒字に転換している。通年利益のうち上流部門は25億ドルのマイナスから82億ドルの黒字に大幅に改善しており、下流部門は52億ドルの利益を確保している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は、6.5%であり、前年のマイナス0.4%から改善している。

(4)設備・探鉱投資

2017年の年間の設備・探鉱投資額は188億ドルであり、これは2016年比で16%減である。

(5)石油・ガス生産量

昨年のChevronの石油生産量は日量平均1,723千B/Dであり、前年横ばいであった。天然ガスは日量平均6,032mmcf/dで前年より15%増加している。

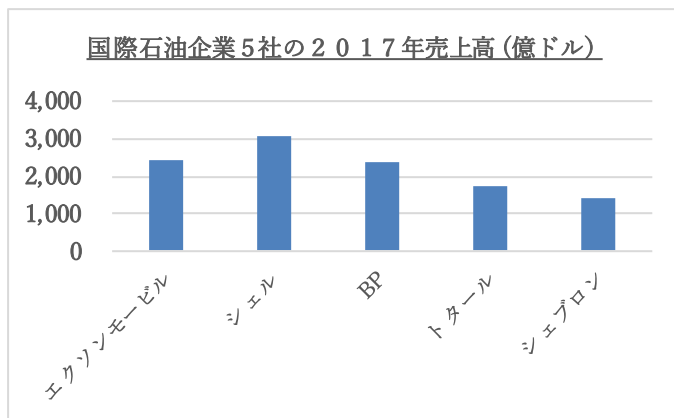
石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で2,728千B/Dとなり、2016年比では5%増である。

II. 2017年の業績比較

1. 売上高

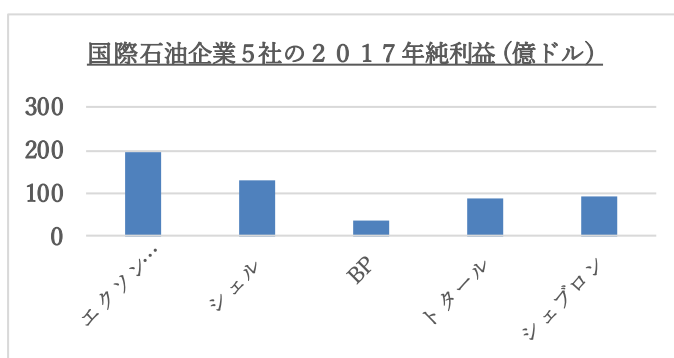
ここではExxonMobil, Shell, BP, Total及びChevron5社の2017年の売上高を比較する。5社の中で売上高が最も大きいのはShellの3,052億ドルであり、これに続くのがExxonMobilの2,446億ドルである。ExxonMobilの売上高はShellの8割にとどまっている。なお後述する8カ年(2010-2017年)業績推移で詳しく触れるが、2012年までの売上高はExxonMobilがトップであったが、2013

年以降は Shell がトップである。



Shell、ExxonMobil に次いで売上高が大きいのは BP の2,402億ドルであり ExxonMobil とほぼ同じである。Total、Chevron の売上高はそれぞれ1,715億ドル及び1,417億ドルで、Chevron はトップの Shell の売上高の半分以下である。

2. 利益

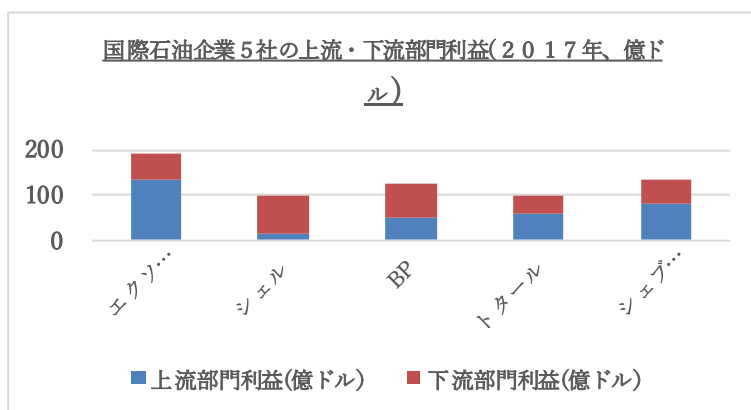


ExxonMobil が5社の中で利益額が最大であり(197億ドル)、これに次ぐのが Shell の130億ドル、でこの二社が利益100億ドルを超えている。これに続いて Chevron 及び Total が90億ドル前後で並んでいる。これら4社に比べて BP の昨年の利益は34億ドルにとどまっております、トップの ExxonMobil の5分の1以下、

4位及び5位の Chevron 或は Total と比べても半分以下の低い水準である。

3. 上流部門/下流部門利益

(注)上記2の利益には上流部門及び下流部門(石油精製販売部門)の他化学部門の利益が含まれている場合があります本項の合計額とは必ずしも一致しない。)

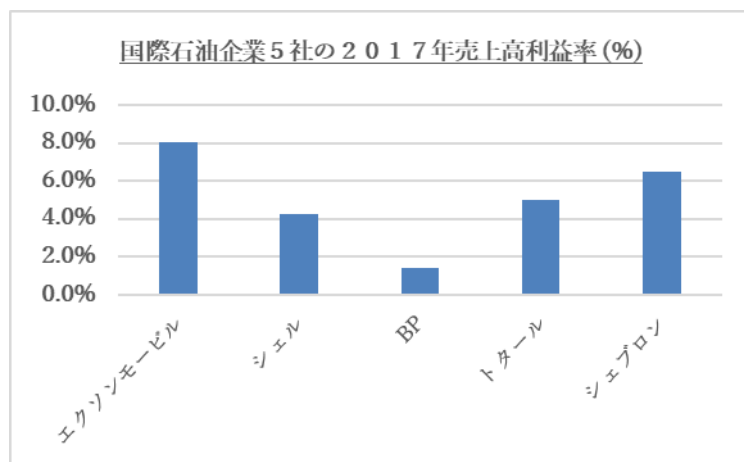


上流部門の利益は各社によって大きな格差があり、最も多いのは ExxonMobil の134億ドル、次いで Chevron が82億ドル、トータル60億ドル、BP52億ドルである。Shell は最も少ない16億ドルでトップの ExxonMobil の1割強にとどまっている。

これに対して下流部門の利益は Shell が83億ドルと最も多く、BP72億ドル、ExxonMobil56億ドル、Chevron52億ドルと続き、Total は38億ドルと最も少ないが、上流部門ほどの大きな格差は見られない。上流部門は保有する鉱区の優劣により大きな開きが生まれるのに対し、下流部門は各社の精製設備の競争力に大きな差が無く、市場における販売力の違いに損益格差があるためと考えら

れる。

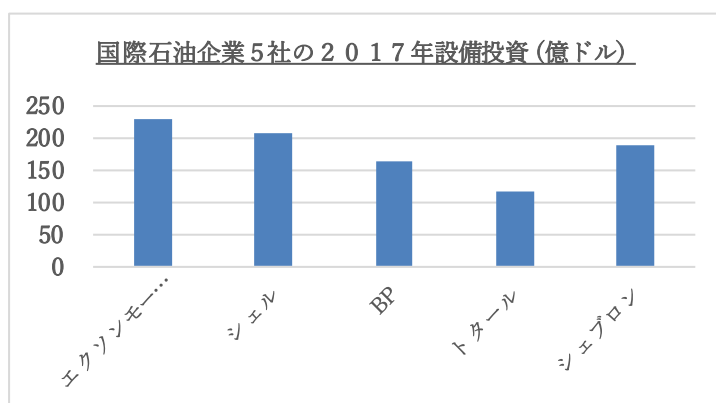
4. 売上高利益率



売上高と利益の比率である売上高利益率を見ると、ExxonMobil が8.1%と最も高く、Chevronが6.5%で続いている。Total は5%、シェルの利益率は4.3%である。Shell は売上高は5社の中では最も大きく利益も ExxonMobil に次いで多いが、売上高利益率は5社中の4番目にとどまっている。BP は利益率が1.4%にとどまっており、他の4社に比べて

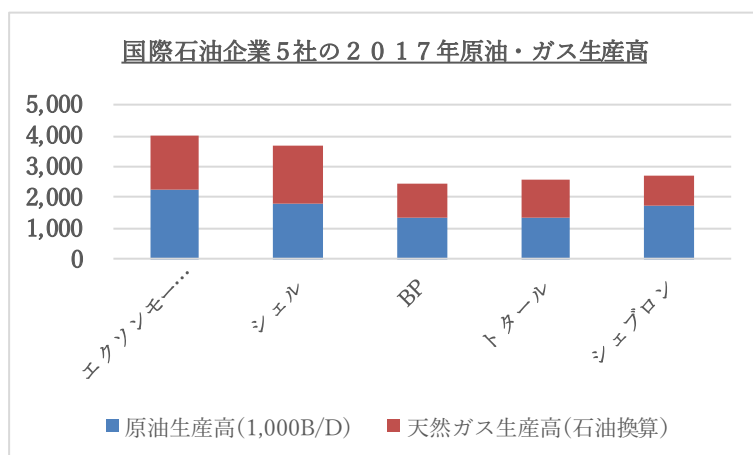
際立って低い。2010年のメキシコ湾原油流出事故の後遺症を今も引きずっていることが同社の決算書から見て取れる。

5. 設備投資額



2017年の5社の設備投資額は ExxonMobil が231億ドルと最も多く続いて Shellが208億ドル、シェルが188億ドル、BP166億ドルである。トータルは5社の中で最も少なくエクソンモービルの2分の1の116億ドルである。

6. 石油及び天然ガス生産量



(1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのは ExxonMobil の2,283千 B/D であり、5社の中で同社だけが2百万 B/D を超えている。ExxonMobil に次いで生産量が多いのは Shell(1,825千 B/D)、第3位は Chevron(1,723千 B/D) である。両社の生産量は ExxonMobil の4分の3前後である。

BP 及び Total はこれら3社よりかなり少なく、BP は1,356千 B/D、Total は1,346千 B/D の石油を生産しており、ExxonMobil の6割弱にとどまっている。

(2)天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは Shell で石油に換算すると1, 839千 B/D であった。2位は ExxonMobil の1, 702千 B/D である。3位以下は Total(1, 220千 B/D)、BP(1, 110千 B/D)、Chevron(1, 005千 B/D)と続いている。

(3)石油・天然ガス合計生産量

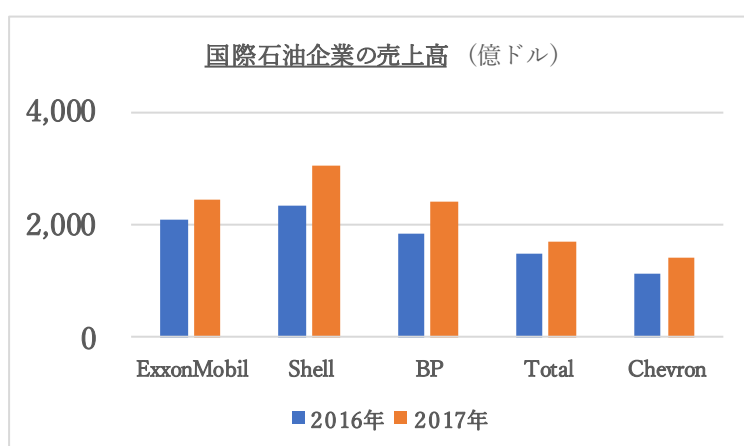
石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で3, 985千 B/D である。2位は Shell の3, 664千 B/D である。その他の3社は Chevron(2, 728千 B/D)、Total(2, 566千 B/D)、BP(2, 466千 B/D)と200万 B/D 台に並んでいる。ExxonMobil の生産量を100とした場合、他の4社は Shell92、Chevron68、Total と BP はそれぞれ64及び62である。

各社の石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron は石油63%、天然ガス37%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油:天然ガスの比率はそれぞれ、ExxonMobil(石油57%:天然ガス43%)、BP(石油55%:天然ガス45%)、Total(石油52%:天然ガス48%)、Shell(石油50%:天然ガス50%)である。Shell は5社の中では天然ガスの比率が最も大きく石油と天然ガスの比率は1対1である。

III. 2016年と2017年の5社業績比較

2017年は原油価格が回復したため国際石油企業各社はいずれも売り上げが伸び、前年度赤字であった Chevron を含め全社が利益を計上、対前年比で大きく伸びている。利益のうち上流部門は大幅に改善、下流部門についても利益が前年を上回るケースが多い。但し設備投資については慎重な姿勢が見られ ExxonMobilを除く4社は前年を下回っている。

1. 売上高



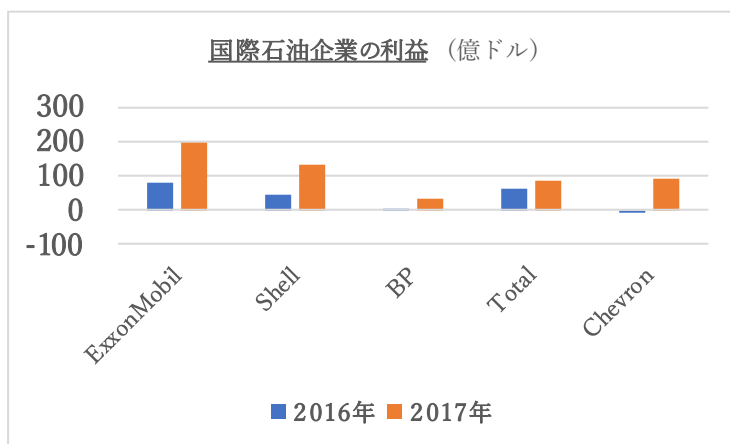
2015年及び2016年の5社の売上順位は両年ともトップは Shell であり、続いて2位 ExxonMobil、3位 BP4位 Total、5位 Chevron と2年続けて変わらない。各社とも2016年から2017年にかけて売り上げは二桁の伸びを示しているが、特に Shell と BP は売上が3割以上増えている。各社の売上高は Shell は2, 336億ドル(2016

年)→3, 052億ドル(2017年、以下同じ)、ExxonMobil 2, 081億ドル→2, 444億ドル、BP1, 830億ドル→2, 402億ドル、Total 1, 497億ドル→1, 715億ドル、Chevron 1, 145億ドル→1, 417億ドルであった。

売り上げの増加は石油・天然ガス価格が上昇したことである。因みに代表的な指標原油である Brent 原油の2016年の年間平均価格は43.73ドル/バレルであり、2017年のそれは54.19ドル/バレルと24%アップしている。また天然ガスの指標価格である米国 Henry Hub 引渡価格も百万 BTU 当たり2016年の2.46ドルに対して2017年は2.95ドルであり、20%上がっている²。

2. 損益

(1) 総合損益

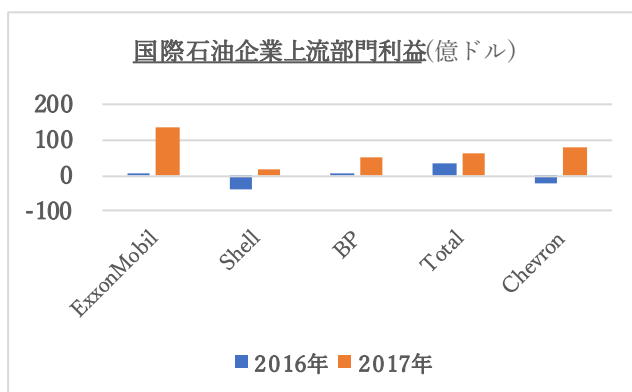


2017年の利益を前年の2016年と比較すると各社ともに高い利益を計上、特に BP 及び Chevron が前年の水面すれすれもしくは欠損から大幅に改善し利益を計上した他 ExxonMobil 及び Shell は100億ドル以上、前年の3倍に近い高い利益を出している。

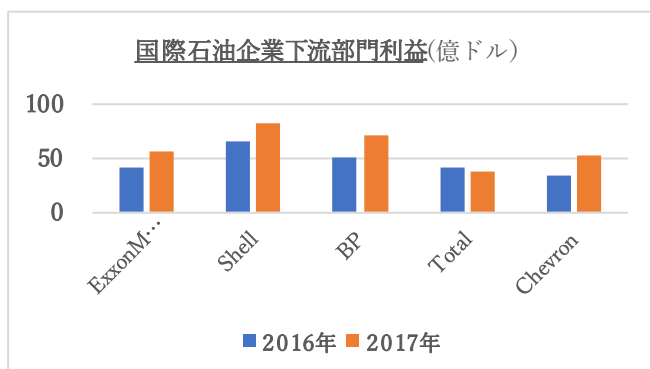
2017年に5社で最も利益が多かったのは ExxonMobil の197億ドルであり、前年78億ドルの2.5倍である。同社に次いで利益が高いのは Shell の130億ドルでこの二社が利益 100 億ドルを超えている。Shell の場合は前年の46億ドルから3倍近く急増している。BP は5社の中では2017年の利益は最も少ないが前年の利益が1億ドルに過ぎなかったことに比べると大幅に改善している。Total は2016年の利益62億ドルに対して2017年は86億ドルの利益を計上、堅実な業績を続けている。Chevron は前年が5億ドルの欠損であったが、今回は利益92億ドルに急回復している。

(2) 上流部門と下流部門の損益比較

各社の利益を上流部門(生産)と下流部門(精製)に分けてみると各社とも上流部門の回復が目覚ましく、下流部門も Total を除きいずれも前年を上回る利益を計上している。



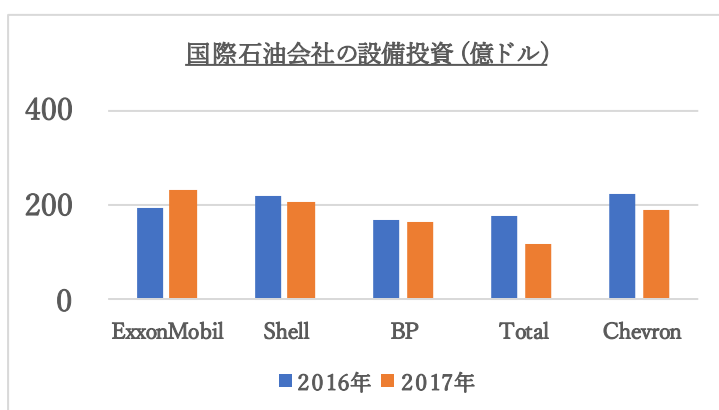
上流部門を見ると、2016年は Shell 及び Chevron がマイナスであり、ExxonMobil 及び BP の利益額もわずかであり、Total のみが36億ドルの利益を出していた。しかし2017年は ExxonMobil が134億ドルの大幅な利益を計上したほか、Chevron 82億ドル、Total 60億ドル、BP52億ドルとそれぞれ堅実な利益を計上している (Shell の利益は16億ドル)。



次いで下流部門を見ると、Shell は前年の66億ドルを17億ドル上回る83億ドルの利益を計上、BP、ExxonMobil の2社も72億ドル及び56億ドルといずれも前年を3割以上上回る増益であった。Chevron は5社の中で増益率が最も高く、前年比1.5倍の52億ドルの利益であった。

(注) 最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているなど各社によって異なるため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない

3. 設備投資



2016年と2017年の5社の設備投資は対前年比で増加したのはExxonMobil1社だけで、他の4社は減少している。ExxonMobil の投資額は193億ドル(2016年)→231億ドル(20%増)である。Shell(221億ドル→208億ドル)、BP(167億ドル→166億ドル)はほぼ前年並みであるが、Chevron は16%減(224億ドル

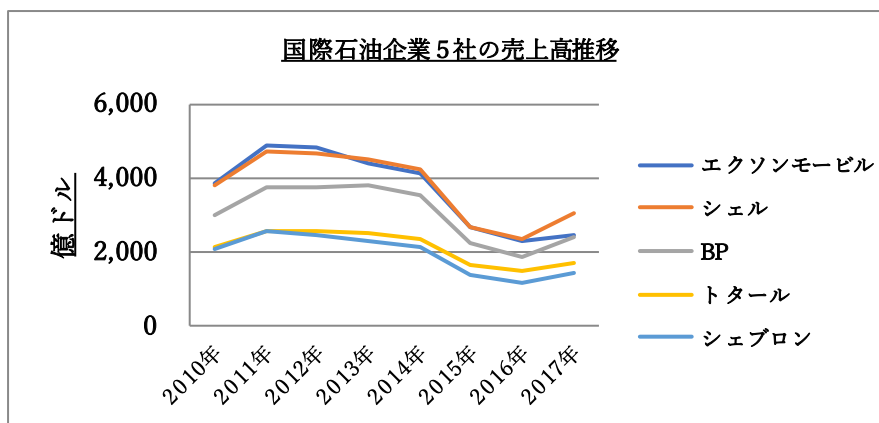
→188億ドル)であり、Total は5社の中で最も大きな減少幅であった(178億ドル→116億ドル)。

IV. 8カ年(2010-2017年)業績推移の比較

ここでは2010年から2017年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みにBrent 原油は2011年から13年までの3年間は年間平均価格が100ドルを超えた。しかしその後2015年は一転して50ドル台に半減、2016年初めには30ドルを割るまでに落ち込み、その後回復して同年の年間平均価格は44ドルになり、さらに2017年の年間平均価格は54ドルに上昇している。5社の決算数値はこの価格変動をほぼ忠実に反映していると言えよう。

1. 売上高

2010年の売上高トップはExxonMobil の3,832億ドルでありShellがわずかな差(3,782億ドル)で第2位であった。売上高第3位はBP(2,971億ドル)で、TotalとChevronはそれぞれ2,111億ドル及び2,049億ドルであった。2010年から2012年までの3年間はExxonMobil がトップであり、2013年から2016年までは2015年を除きShell がトップに立つなど僅差でトップが入れ替わっている。しかし2017年はシェルの伸びが大きく、ExxonMobil との格差が拡大、ExxonMobil は3位のBPに猛追されその差はわずかである。

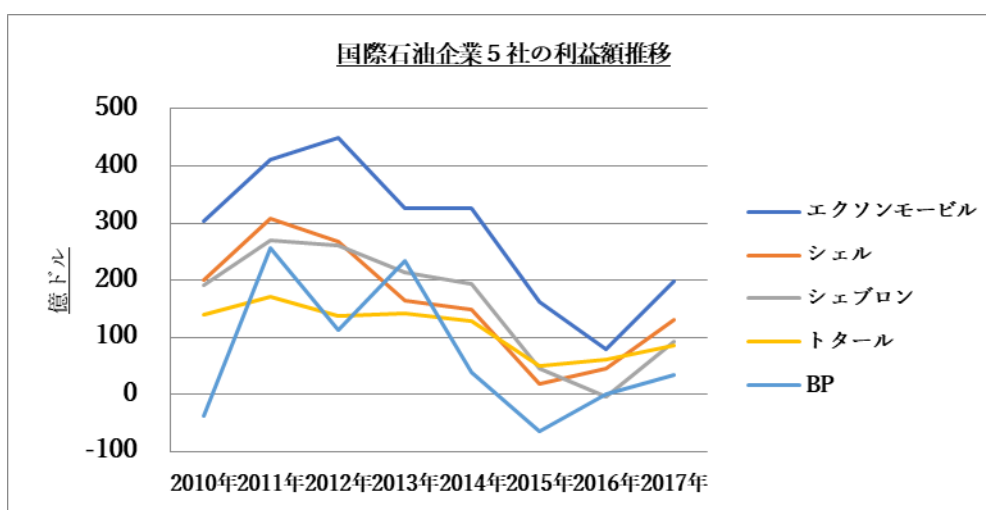


2016年までの BP の売上高は ExxonMobil、Shell の8割前後で3位にとどまっていた。しかし2017年の売上高は2,400億ドルとなり、伸びの低かった ExxonMobil の売上高2,440億ドルとの差はわずかに

なっている。Chevron および Total は常に Total が5位、Chevron が6位であり、トップの5～6割の水準で推移している。

年毎に見ると2011年から2014年までは各社とも売上高は高い水準を維持し続けた。しかし2015～16年は原油価格が急落、ピーク時の2011年の売上高の半分程度に急落した。昨年(2017年)は多少回復し、Shell、BP、Total は2011年の6割台まで戻しているが、ExxonMobil 及び Chevron は回復のテンポが遅く2011年の5割程度にとどまっている。

2. 利益



2010年から2017年までの5社の利益の推移を見ると、2010年は ExxonMobil が他の4社を大きく引き離して305億ドルの利益を計上、Shell と Chevron が200億ドル前後の利益、Total は ExxonMobil の2分の1弱の140億ドルの利益であった。そのなかで BP のみ37億ドルのマイナスであった。

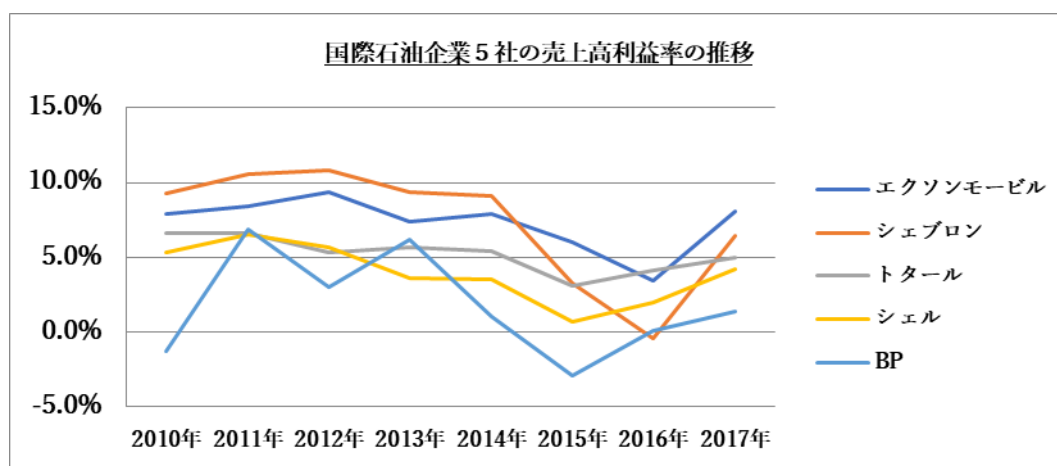
翌年の2011年には各社とも利益が急伸、ExxonMobil の利益は400億ドルを突破、Shell も308億ドルの利益を計上した。前年赤字であった BP は Chevron と並ぶ260億ドルの黒字に回復し、Total も5社で最も少ないとは言え171億ドルのプラスであった。ExxonMobil は翌2012年にはさらに449億ドルまで利益を伸ばしたが、他の4社は過去8年の中で2011年が最高の利益水準であ

った。

2012年以降は各社によって多少異なるものの2015年あるいは2016年まで利益は年々減少傾向にあり、例えば ExxonMobilの場合2016年の利益は78億ドルにとどまり、ピーク時の2012年の4割の低水準である。2011年が利益のピークであったその他の4社もその後利益を大幅に減らし続け BP は2015年、Chevron は2016年にそれぞれ65億ドル及び5億ドルの欠損を計上している。Shell の場合ピーク時の2011年に比べ2015年の利益はわずか6%、19億ドルにとどまっている。

2017年には各社とも利益が回復、それぞれ ExxonMobil 197億ドル、Shell 130億ドル、Chevron 92億ドル、Total 86億ドル、BP 34億ドルの利益を計上、2014年あるいは2015年の利益水準に戻っている。

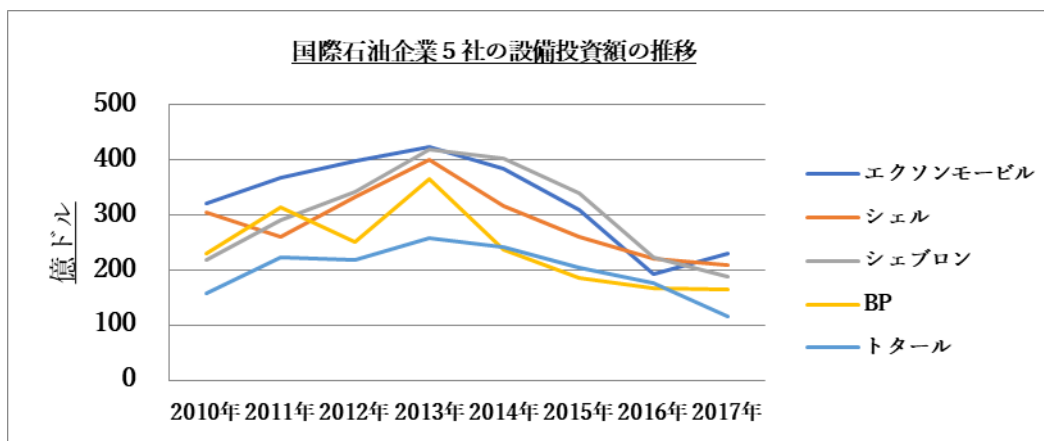
3. 売上高利益率



2010年の売上高利益率は、Chevronが9.3%と最も高く、次いでExxonMobil 7.9%、Total 6.6%、Shell 5.3%であり、BPのみがマイナス1.3%であった。Chevron はその後2014年まで利益率のトップで毎年10%前後の高い利益率を達成している。ExxonMobil も9~10%のほぼ一定した利益率であった。

しかし2015年から2016年にかけては各社とも利益率が急落、特に Chevron は2014年の9.1%から2015年には3.3%に下落、さらに2016年にはマイナス0.4%に転落している。BP はChevron より一足早く2014年から利益率が急落、同年は1.1%、さらに2015年には2010年に続き二度目のマイナスの利益率(-2.9%)を記録した。2016年は各社によって明暗が分かれExxonMobilとChevronが2年続けて利益率が下落し、またChevronはマイナスに転落した一方、その他の3社は利益率が回復している。そして2017年には全社で利益率が改善、トップはExxonMobilの8.1%、次いでChevron 6.5%、Total 5.0%、Shell 4.3%と続き、BPはこれら4社よりかなり劣るものの1.4%の利益率であった。

4. 設備投資

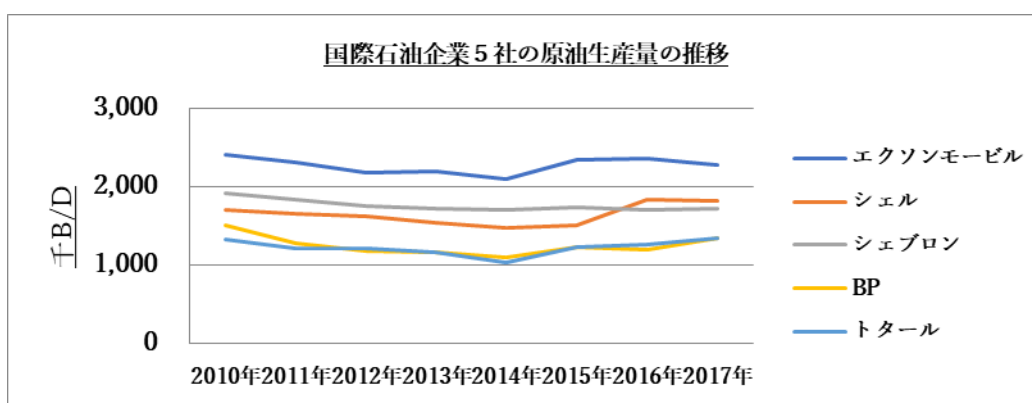


2010年の設備投資額は ExxonMobil が322億ドルで最も多く、Shell(306億ドル)、BP(230億ドル)、Chevron(218億ドル)と続き Total は159億ドルで最も少なかった。翌2011年は Shell のみが前年を下回り他の4社は増加している。また2012年は BP 以外の4社の設備投資は増えた。そして2013年の設備投資額は全社で増加し、過去8年間のピークに達した。この年に投資額が最も多かったのは ExxonMobil の425億ドルであり、Chevron 及び Shell が419億ドルと400億ドルと3社そろって400億ドル台であった。そして BP は366億ドル、Total は259億ドルであった。

しかし2014年から2016年までの3年間は5社すべてで連続して設備投資が減少している。この結果2016年の設備投資額は過去8年間で最も低い水準にとどまり、特に ExxonMobil 及び BP はピークの2013年の投資額の半分以下に落ち込んでいる。2017年の設備投資額は ExxonMobil のみ前年を上回っているが、その他の4社は横ばいもしくは減少である。2014年の石油価格の暴落により2015年及び2016年と売上および利益が急落したこともあり各社とも設備投資を削減する方向にあるが、特に上流部門の設備投資削減は安定的な生産維持にとっては懸念要因である。

5. 石油及び天然ガス生産量

(1)石油生産量

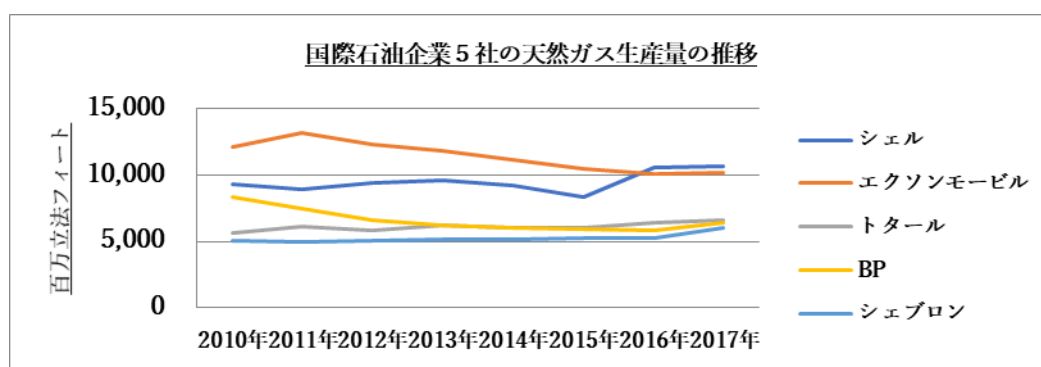


5社の2010年から2017年までの石油生産量の推移を見ると、8年間を通じて ExxonMobil は他の4社を大きく引き離している。同社の生産量は、2,422千 B/D(10年) → 2,312千 B/D(11年) → 2,185千 B/D(12年) → 2,202千 B/D(13年) → 2,111千 B/D(14年) → 2,345千 B/D(15年) → 2,365千 B/D(16年) → 2,283千 B/D(17年)と5社の中で唯一常に二百万 B/D 以上を維持している。

ExxonMobil 以外の2010年の生産量は Chevron (1, 923千 B/D)、Shell (1, 709千 B/D)、BP (1, 518千 B/D)、Total (1, 340千 B/D)の順であった。2010年以降2014年まで5社はいずれも毎年生産量が減少し続けており、2014年の各社の生産量は ExxonMobil 2, 111千 B/D、Chevron 1, 709千 B/D、Shell 1, 484千 B/D、BP 1, 106千 B/D、Total 1, 034千 B/D に落ち込んだ。2015年から2016年にかけては原油生産量は増加傾向にあり、2017年はほぼ横ばいの状態である。5社の中では特に Shell の増産ペースが高く Chevron を追い抜き ExxonMobil について2位の生産量を誇っている。

2010年の生産量を100とした場合、2017年の各社生産量は Shell 107、Total 100、ExxonMobil 94、Chevron 90、BP 89であり、5社の中では Shell のみが2010年を上回っているのに対して BP、Chevron は2010年の9割にとどまっている。

(2)天然ガス生産量



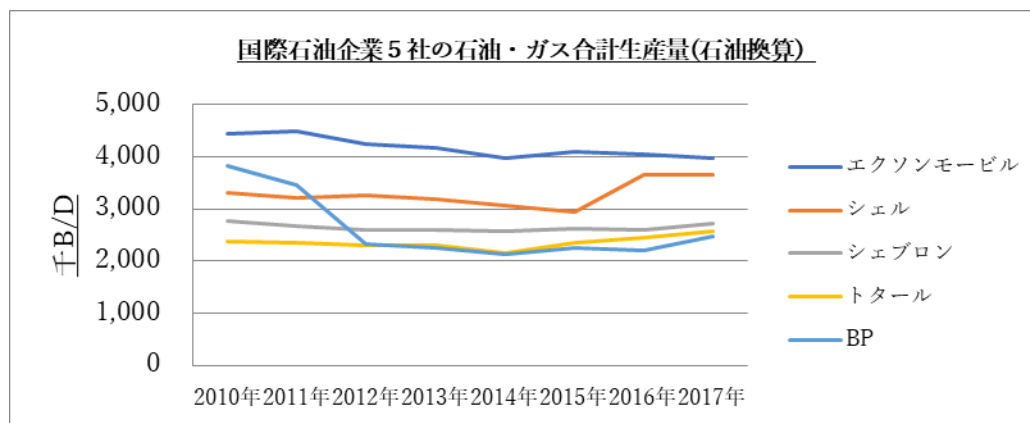
2010年から2017年までの天然ガスの生産量は各社で明暗が分かれている。2010年の生産量は ExxonMobil が121億立法フィート/日(以下 cfd)で5社のトップであり、Shell 93億 cfd、BP 84億 cfdと続き、Total と Chevron はこれら3社よりかなり低く50億 cfd台で並んでいる。その後2011年から16年にかけては ExxonMobil と BP の生産量は毎年減少し続け、一方、その他の3社の生産量は横ばい乃至は微増した。その結果2016年には Shell の生産量が ExxonMobil を追い抜き、また BP は Total を下回る水準に落ち込んだ。この傾向は2017年も続き、現在では Shell と ExxonMobil が日量100億立方フィートを超え、Total、BP 及び Chevron 3社は60億 cfd台の生産量で競り合っている状況である。

(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)

石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2010年には ExxonMobil がトップの4, 447千 B/D である。これに続いて BP (3, 822千 B/D) 及び Shell (3, 314千 B/D) が300万 B/D 台、Chevron (2, 763千 B/D) 及び Total (2, 378千 B/D) は2百万 B/D 台であった。

ところが翌2011年以降 BP が2年連続して急落、2012年の生産量は2, 319千 B/D にとどまりその後現在まで5社の中でもっとも少ない生産量にとどまっている。一方 Shell は2015年まで横ばいを続けた後、2016年に生産量が3, 668千 B/D と大幅に上昇、ExxonMobil と肩を並べる水準に

達している。



2010年を100とした場合の2017年の各社の生産量は Shell が111、Chevron108でこの2社が2010年を上回っているが、他の3社はいずれも2010年の生産量を下回り、特にBPは3分の2程度まで低下している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2017年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2017年10-12月	66,515	85,422	67,816	47,351	37,616
	前年同期	56,399	64,767	51,007	42,275	31,497
	増減(%)	17.9%	31.9%	33.0%	12.0%	19.4%
	2017年1-12月	244,363	305,179	240,208	171,493	141,722
	前年1-12月	208,114	233,591	183,008	149,743	114,472
	増減(%)	17.4%	30.6%	31.3%	14.5%	23.8%
利益(百万ドル)(*)	2017年10-12月	8,380	3,807	27	1,021	3,111
	前年同期	1,680	1,541	497	548	415
	増減(%)	398.8%	147.0%	-94.6%	86.3%	649.6%
	2017年1-12月	19,710	12,977	3,389	8,631	9,195
	前年1-12月	7,840	4,575	115	6,196	▲ 497
	増減(%)	151.4%	183.7%	2847.0%	39.3%	-1950.1%
売上高利益率(%)	2017年10-12月	12.6%	4.5%	0.0%	2.2%	8.3%
	前年同期	3.0%	2.4%	1.0%	1.3%	1.3%
	2017年1-12月	8.1%	4.3%	1.4%	5.0%	6.5%
	前年1-12月	3.8%	2.0%	0.1%	4.1%	-0.4%
上流部門利益(百万ドル)(*)	2017年10-12月	8,352	2,050	1,928	1,805	5,291
	前年同期	▲ 642	35	692	1,131	930
	増減(%)	-1400.9%	5757.1%	178.6%	59.6%	468.9%
	2017年1-12月	13,355	1,551	5,221	5,985	8,150
	前年1-12月	196	▲ 3,674	574	3,633	▲ 2,537
	増減(%)	6713.8%	-142.2%	809.6%	64.7%	-421.2%
下流部門利益(百万ドル)(*)	2017年10-12月	1,564	1,116	1,773	886	1,279
	前年同期	1,241	1,575	899	1,138	357
	増減(%)	26.0%	-29.1%	97.2%	-22.1%	258.3%
	2017年1-12月	5,597	8,258	7,221	3,790	5,214
	前年1-12月	4,201	6,588	5,162	4,201	3,435
	増減(%)	33.2%	25.3%	39.9%	-9.8%	51.8%
設備投資(百万ドル)	2017年10-12月	8,999	5,861	4,422	3,638	5,436
	前年同期	4,829	5,714	4,658	4,928	5,261
	増減(%)	86.4%	2.6%	-5.1%	-26.2%	3.3%

	2017年1-12月	23,080	20,845	16,562	11,636	18,821
	前年1-12月	19,304	22,116	16,701	17,757	22,428
	増減(%)	19.6%	-5.7%	-0.8%	-34.5%	-16.1%
原油生産量 (1,000B/D)	2017年10-12月	2,251	1,771	1,344	1,389	1,713
	前年同期	2,384	1,954	1,178	1,257	1,745
	増減(%)	-5.6%	-9.4%	14.1%	10.5%	-1.8%
	2017年1-12月	2,283	1,825	1,356	1,346	1,723
	前年1-12月	2,365	1,838	1,208	1,271	1,719
	増減(%)	-3.5%	-0.7%	12.3%	5.9%	0.2%
天然ガス生産量 (100万 cfd)	2017年10-12月	10,441	11,518	7,176	6,832	6,162
	前年同期	10,424	11,315	5,846	6,597	5,546
	増減(%)	0.2%	1.8%	22.8%	3.6%	11.1%
	2017年1-12月	10,211	10,668	6,436	6,662	6,032
	前年1-12月	10,127	10,613	5,796	6,447	5,252
	増減(%)	0.8%	0.5%	11.0%	3.3%	14.9%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2017年10-12月	3,991	3,756	2,581	2,613	2,740
	前年同期	4,121	3,905	2,186	2,462	2,669
	増減(%)	-3.2%	-3.8%	18.1%	6.1%	2.7%
	2017年1-12月	3,985	3,664	2,466	2,566	2,728
	前年1-12月	4,053	3,668	2,208	2,452	2,594
	増減(%)	-1.7%	-0.1%	11.7%	4.6%	5.2%

* 総合損益には石油化学部門あるいはその他の損益を含むため、上流部門・下流部門損益の合計額とは一致しない場合がある。

¹ BP 決算資料より

https://www.shell.com/investors/financial-reporting/quarterly-results/2017/q4-2017/_jcr_content/par/toptasks_1119141760.stream/1517418627505/428c867b9387c38677cff6f55ae6dc06257083278735b2b7ea40ce451ff74d47/q4-2017-suppl-finandopdisclosure-document.pdf

² Shell 決算付属資料参照。

https://www.shell.com/investors/financial-reporting/quarterly-results/2017/q4-2017/_jcr_content/par/toptasks_1119141760.stream/1517418627505/428c867b9387c38677cff6f55ae6dc06257083278735b2b7ea40ce451ff74d47/q4-2017-suppl-finandopdisclosure-document.pdf